

だんないの道

第37号

2018年12月3日発行

発行者：NPO法人CIL だんない

代表者：美濃部裕道

連絡先：〒529-0423 滋賀県長浜市木之本町
千田681番4

TEL : 0749-50-3639

E-mail : dannai@ae.auone-net.jp

代表あいさつ	P1	ここからはじまる	ここからはじめる！	P2
忘れかけていたもの	P3	一人暮らしを始めてみて	P4	
活動報告	P5	ちょこっと紹介！	だんないブログ	P8
だんないスローガン	一部抜き出してみました	P11	イベント紹介	P13
コラム	ヨリの雑記帳	P16		

代表あいさつ

湖北の雲も、だんだん冬らしくなって賤ヶ岳（しずがたけ）からたれ込んでくる黒い雲が目立ち始めました。心地よく吹いていたそよ風も、体に厳しく当たる北風へと変わってきました。こうして、またつらくて厳しい冬が到来します。新事務所ができて初めての冬。今までよりは奥まったところに入り口があるので、どうやって雪ドケをしようかと頭を悩ませています。

この秋も怒濤（どとう）のようにスケジュールが立て込み、10月20日はサラダパンカップ、10月27日は湖北 RIGHTS（ライツ）、11月3日はだんない祭りと、大型のイベントが3週連続でありました。だんないにしては珍しく、どの日も好天にめぐまれ、楽しく充実したひとときを過ごすことができました。

この3日間で感じたことは、いろんな人を巻き込んでいくことの大切さです。サラダパンカップでは、高月総合型地域スポーツクラブ「ピース」さん、長浜市スポーツ推進委員会の皆さんをはじめ、多くのボランティアの方々にご協力いただきました。湖北 RIGHTS でも、これまであまり関わりのなかった団体や事業所の方々と協力し合うことができました。だんない祭りでは、振り返りの時に「これからはもっと地域の皆さんを巻き込んでいってはどうか」というご意見をいただくなど、地域の方々が日ごろの取り組みを温かく見守っていただいていることに気づきました。

だんないの原点は、地域の皆さんと共に生活していくことです。いくら立派なイベントを開催しても、ふだんよく知っている者同士だけで盛り上がっているのではあまり意味はなく、いろんな人を巻き込んで「共に」作り上げることが大切。そんなことを実感した3日間でした。孤立生活ではなく、地域生活を目指して、改めて活動を展開していきたいと思います。

条例は、いよいよ来年2月の制定に向けて進み始めています。専門分科会の答申にあった、差別の定義である「不均等待遇（ふきんとうたいぐう）」や、当事者の代弁者となって権利を擁護する「地域アドボケート」など、条例の骨子案から抜け落ちている用語があります。しかし、全体的な中身としては、私たちの求めていたものになっているので少し安心しています。

ただ、今後は11月20日～1月4日にかけて実施されるパブリックコメントや県議会での議論もあり、制定される時まで気を抜かずに行方を見届けようと思います。是非とも、みなさんもパブリックコメントでご意見の提供をお願いします。

今年もあと一ヶ月を切りました。もう、クリスマスやおせち料理のCMが流れるようになりました。季節や時間の感覚がおかしくなりそうですが、「いま」という意識をしっかりとって、社会の動向にあまり左右されずに一步一步着実にあゆみたいものです。

美濃部 裕道

ここからはじまる ここからはじめる！

谷口健人

自立生活（ひとり暮らし）を始めて、半年ほどが経ちました。最初は「めっちゃ料理つくろぞ！」などと意気込んでいましたが、現実とは全然つくらなくて、コンビニとスーパーとドラッグストアとだんなのご近所さんからの頂き物が神様仏様という日々です。ILP（自立生活プログラム。地域での暮らしに必要ないろいろなことを楽しみながら経験して身につけるプログラムのことです。）のときだけは頑張ろうと思っています。とりあえず、ガス台を買うところからだなあ・・・

さて、10月27日に「KOHOKU RIGHTS！（湖北ライツ）ここからはじまるほんまにやさしくらしかた」が開催されました。みんなで同じTシャツを着てウォーキングをして、障害者差別解消法のことを啓発したり、フォーラムで、誰もが共に生きて暮らしていける地域づくりについて考えるイベントでした。ウォーキングだけでも70名くらいの参加があり、全体では100名を超える参加者がありました。

私たちの現実には、まだまだ「障害者」とか「健常者」とか、差別するとかされるとか、目に見える壁も見えない壁もあると思います。本当の意味で「誰もが地域の中で自分らしく生きて暮らしていける社会」の実現にはまだ長い道のりだと思います。けれど、100人の人が集まってそのことについて考えられたことは大きな意義があったと思います。

これから国では障害者差別解消法の施行3年の見直しがあり、滋賀県では障害者差別解消条例がスタートします。法律や条例は考え方の「ものさし」になり、ひとつの武器になる大切な存在です。けれど、法律や条例はスタートラインで、結局は「障害者」、「健常者」の違いは認めた上で、人と人としての関係を作っていけるかということだと思います。障害者と健常者が人と人として当たり前に関係を作っていける社会こそが私たちが目指す社会だと思います。きっとここからはじまる。ここからはじめるぞ！—そんな湖北ライツでした。



忘れかけていたもの

小里 和也

2年連続、晴天に恵まれた、第5回だんない祭りを開催することが出来ました。今年も、とてもいい貴重な時間を過ごさせていただきました。参加いただいた皆さん、出演者の皆さん、ボランティアの皆さん、だんない祭りを支えていただいた皆さん、ありがとうございました。これからもよろしくお願い致します。

今回、だんない祭りを終えて、僕自身忘れかけていたもの、今のだんないにとって一番必要とされているものに気付きました。それは、地域の人といっしょに祭りを楽しみ共に時間を過ごすことだけではなく、祭りの準備から地域の人と内容を考えながら、祭りを作っていくことの大切さです。これこそが、私たちだんないに求められている、必要とされている、これが地域の人と作り上げていくのが「地域交流」だと感じました。みんなといっしょに作り上げることを意識してイベントをこれまで作ってきましたが、最初からみんなでイベントを作っていくことの大切さを思い知りました。僕自身、今まで意識出来なかったことは、お恥ずかしいことですが、これから反省すべきことはしっかりと考えながら、一からイベントを作っていきます。

そして、先日のだんない祭りを意識して作成したスローガン「次へとつなげていくために！」このスローガンを意識しながら、次のイベント 次のだんない祭りに向っていきたいです。ひとりひとりが今できること、役割をしっかりと確認し共有を大事に、だんない、地域の方といっしょに作っていきたいです！次へとつなげていくために！



一人暮らしを始めてみて

大橋 早香

私は、今年の9月頃からアパートを借りてそのアパートで生活しています。そのきっかけは、だんないの仲間が一人暮らしをする姿に憧れ、「自分もアパートを借りて自分ならではの生活がしたい」と思ったからです。家具やカーペットなどの購入の際、色々なことを考えながら自己決定している姿がかっこいいと思いました。そう感じた時、今の私の生活は自己決定する機会が少ないことに気がつき、自己決定に苦手意識を持っていることにも気づきました。そこで、自分で生活をし、自己決定できるようになりたいと思いました。そして、勢いで家を出て、まずはだんないが借りているアパートで一人暮らしの練習を始めました。一人暮らしの練習をする中で、「本当に親がそばにいない環境で生活できるのだろうか」と不安に駆られることもありました。しかし、仲間がエンパワメント（勇気づけ）してくれたこともあり、一人暮らしの楽しさと自由さを実感しつつ、一人暮らしの練習期間を過ごしていました。

1ヶ月程、一人暮らしの練習をし、そろそろアパート探しをしようと思いました。アパート探しも楽しく、色々なアパートがあることが分かり、面白かったです。7月の中旬頃から、実家には滅多に帰っていません。けれど、お互いの距離が今までより遠くなったからこそ気づけたことがあります。それは、家族のありがたさと、家族一人一人が自分の人生を自分らしく送ることの大切さです。私が実家で暮らしていた時は、私がだんないから帰ってくるまで、親あるいは妹や弟が夜待っていてくれていました。なぜなら、車いすから降りる時や入浴の時に手伝ってくれていたからです。当時は、そのような生活リズムになってしまうことに対して、申し訳なさや感謝の気持ちは薄く、今思えばむしろ当たり前だと思っていた時もあります。ですが、一人暮らしを始めて、家族の対応のありがたさに改めて気づきました。また、あのまま実家で暮らしていても、親や妹、弟の人生は、その人たちらしいものではなくなっていたのかも知れない。介助の関係を通して、共依存から抜け出せないままだったかも知れないと思います。特に母親は、私の介助することに強い義務感を抱いていたので、私が一人暮らしを始めたことで、自分の人生を送ってほしいと思います。実家にいた時は何をするにも親に、してもいいかどうかを聞かないと何もできませんでした。外出する時も、私は車いすで、手間がかかるからと遠慮していました。でも、今は外出したい時に行きたいところに行くことができます。それが今は1番嬉しいです。例えば、しまむらで買いたい服を買ったり、口座を自分で作ったりしました。また、来年の1月にはライブに行く予定をしています。

このようなことは、実家にいる人のみならず、施設にいる人も難しいのではないかと思います。だから、私はこれから一人暮らしをしている人ともそうでない人とも知り合って、自立生活の楽しさを語り合えるような、そんな社会にしていけるように活動したいです。

活動報告

9月1～2日	2018 年度障害学研究会九州沖縄部会研究集会 in 福岡	頼尊
2日	彦根 ILP 会議	小里
	条例づくりタウンミーティング in 彦根	美濃部 小里 大橋
5日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 事務局会議 in 長浜市役所	美濃部
7日	JIL 関西ブロックヤング委員会 Skype 会議	小里 谷口
8日	障害のある生徒の高校生活って ～公立高校において共に学ぶとは、どうなの？～	頼尊
	あつまろう会(カラオケ)	
9日	条例づくりタウンミーティング in 浜大津	美濃部 谷口 大橋
10日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 当事者サポーター推進委員会 全体会 議 in 長浜市役所	美濃部 谷口
	だんない企画会議	
12～14日	JIL 関西ブロックヤング委員会合宿 in だんない	小里 谷口
12日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 権利擁護部会 in 長浜市役所	美濃部
13日	琵琶湖博物館ユニバーサルデザイン評価	美濃部 大橋
15日～16日	いっしょに行こまい！高校も！in 刈谷市	頼尊
15日	電動車椅子サッカー練習会 in 木之本	
17日	条例タウンミーティング in 東近江	美濃部 大橋
18日	啓発活動 in フレンドマート湖北店	小里 谷口 大橋
	バイオ大学 講演	美濃部
20日	長浜米原しょうがいしゃ自立支援協議会 県条例検討プロジェクト全体会議 in 長浜市役所	美濃部
	重介護・医療ケア検討部会事務局会議 in 長浜市役所	小里
	すいたバリアフリー	頼尊
21日	JIL 関西ブロック研修会 日本における障害者運動の歴史と現状を学び、今後の 私たちの活動を考えよう！！	小里
22～24日	日本特殊教育学会	頼尊
23日	条例作りタウンミーティング in 草津	美濃部 谷口 大橋
25日	だんない職員研修(ハラスメントについて)	
26日	だんない生誕祭	
27日	千田サロン in だんない	
	木之本民生委員研修	
29日	電動車椅子サッカー大阪大会	
	なんば鬼ごっこ	頼尊
10月1日	代理投票訴訟 in 大阪地方裁判所	頼尊
3日	長浜北小学校 講演	美濃部 谷口 大橋
	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 事務局会議 in 長浜市役所	美濃部

4日	長浜小学校 講演	美濃部
6日	彦根 ILP 会議	小里
7日	見えない障害から地域のつながりを見つめ直す	美濃部 谷口 大橋
8日	「もうろうをいきる」上映会	頼尊
	米原手話フェス	美濃部 大橋
10日	滋賀県障害者施策推進協議会 in 滋賀県庁	美濃部
	第7回 アクセス関西ネットワーク集会	谷口
	自立支援協議会 虐待防止分科会 in 長浜市役所	美濃部
	ポジティブキャンプ生活文化交流祭説明会	頼尊
12日	JIL 関西ブロックヤング委員会 LINE 会議	小里 谷口
	湖北タウンホーム訪問	美濃部
13日	安積遊歩さんのピアカウンセリング講演会 in 奈良	美濃部 大橋
	エンパワーメント講座	谷口
	第17回 全国車いす アクセス・マニア集会 in 仙台	頼尊
14日	電動車椅子サッカー練習試合 in 愛知	
16日	JIL 関西ブロックヤング委員会企画会議	谷口
	啓発活動 in 長浜 アルプラザ平和堂	小里 大橋
	「教育子ども子育て支援日本一の池田」だからこそ出来る通学保障制度をみんなで考えましょう。	頼尊
17日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会運営委員会会議 in 長浜市役所	美濃部
18日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 県条例検討プロジェクト事務局会議 in 長浜市役所	美濃部
20日	電動車椅子サッカー 第2回サラダパンカップ	
	障害学会リハーサル	頼尊
23日	小谷小講演	美濃部
	米原市高齢者・障がい者虐待防止ネットワーク会議(第1回全体会議)	美濃部
	弁護士会議	頼尊
	代筆投票会議 in 大阪	頼尊
24日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会当事者サポーター推進分科会 事務局会議 in 長浜市役所	美濃部
27日	湖北 Rights	
30日	長浜人権擁護委員会研修	
31日	JIL 運営委員会(西日本・大阪)(～11月1日)	頼尊
	千田サロン in だんない	
11月3日	だんない祭り	
	彦根 講演	頼尊
4日	ピアカウンセリング委員会 湖北タウンホーム訪問	美濃部 小里
5日	だんない職員研修(共生教育・教育の場での合理的配慮)(～6日)	
7日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 事務局会議 in 長浜市役所	美濃部
8日	滋賀県障害者差別解消支援地域協議会部会	美濃部
9日	長浜市地域福祉活動計画推進委員会	美濃部
10日	ぽてとファーム事業団役員会	美濃部

	健康なくらしづくり学習会 in 大阪	頼尊
	ボッチャ打ち合わせ in 高月体育館	小里
12日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会当事者サポーター推進分科会 in 長浜市役所	谷口
	伊吹民生委員児童委員協議会視察研修inだんない	
	木之本中学校打ち合わせ	美濃部
13日	彦根精神障害者家族会視察研修inだんない	
14日	権利擁護部会公開講座	
15日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 県条例検討プロジェクト事務局会議 in 長浜市役所	美濃部
	塩田裁判	頼尊
16日	木之本中学校講演	美濃部 小里 大橋
16～18日	障害学会	頼尊
18日	電動車椅子サッカー サンガカップ	小里 大橋
19日	大阪オールラウンド交渉	頼尊
	代筆投票弁護団会議	頼尊
	代筆投票会議	頼尊
20日	条例作りタウンミーティング in 甲賀	美濃部
21日	フリーダム21訪問	大橋
21日	中河内研修	頼尊
	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 虐待防止分科会 in 長浜市役所	美濃部
23日	ポジティブキャンプ生活文化交流会 in 長居	小里 谷口
	長浜福祉大会講演	美濃部 大橋
	スイートハート祭り	美濃部 大橋
24日	スクラム公開学習会	頼尊
25日	ボッチャ大会	
26日	代筆投票弁護団会議	頼尊
27～30日	長浜養護学校実習生受け入れ	
28日	尊厳生集会	頼尊
	千田サロンinだんない	
	朝日小学校講演打ち合わせ	美濃部 小里 谷口 大橋
30日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 相談フーカー部会	谷口

ちょこつと紹介！ だんないブログ。

9月7日



先日の台風、皆さんがお住まいの周辺被害は大丈夫でしたか？被害に遭われた方、一刻も早い復旧をお祈りします。

だんないがある地域の千田は、強烈な風が吹いていました。さらに長時間の停電があり、呼吸器ユーザーのカズのことが心配でした。そのあと、少し風がおさまったので、カズのアパートに避難しました。そこは、停電になっていなかったので一安心でした。

でも、1つ残念なことがありました。強烈な風の影響で、だんないの立て看板が根っこからごっそりと倒れてしまったのです(TT)だんないの周辺は細道ばかりであの看板がだんないの目印だったので、残念でなりません。

余談ですが、だんないの芝生にこんな白いキノコが生えていました。(毒キノコかな？w)

9月12日～14日

J I L関西ブロック ヤング委員会合宿 in だんない
この合宿では、お互いのことをたくさん知ることができ、ヤング委員会としての団結力や、ヤング委員会の楽しさを感じれた合宿になりました！ヤング委員会のみなさん、地域のみなさん、3日間ありがとうございました！



9月8日



9月8日に第1回ピープルファーストあつまろう会でカラオケをしました。1回目だったので人が集まるか不安でしたが、当日は結構な人があつまりみんな楽しく歌えました。また、こういう企画を計画していきたいと思います。そのときは、よろしくお願いします。

9月26日

7月(美濃部・介助者 丹波)・8月(介助者 谷口)・9月(市川)生まれ 生誕祭をしました！みのやん(美濃部)の大好物「麺」、いっちゃん(市川)リクエストの「おでん」を作りました！料理もとても美味しく、みんなからたくさんの「楽しい」「美味しい」「うれしい」というのが、すごく伝わった生誕祭になりました！みなさんにとって、楽しく素晴らしい1年になりますように！



10月20日



10月20日に、「第2回サラダパンカップ」を開催しました！ 昨年に引き続き京都から「JPD ソニック〜京都電動蹴球団」さん、そして今回新たに兵庫から「セレッソ阪神」さん、岐阜から「Wings」さんをお招きしての高月運動広場体育館での開催でした。

僕たちリュートスター滋賀もレベルは上がってきていると思いますが、他チームさんも強かった！！優勝は岐阜のWingsさんで、リュートは敢闘賞をいただきました。(中略) 皆さま、ありがとうございました。来年も「第3回サラダパンカップ」を実施し、地域の中で誰もがスポーツを楽しむことができる、スポーツを通して地域との繋がりを確かめることができる恒例の大会としていきたいと思っています。来年もご参加よろしくをお願いします！！個人的には、お昼にいただいた焼きたてサラダパンがめちゃくちゃ美味しくて感動しました！つるやパンさんありがとうございます！焼きたてサラダパンも楽しみに、ぜひ「サラダパンカップ」へお越しください！(笑)

10月27日



「ここからはじまる ほんまにやさしい くらしかた」というウォーキングイベントを行いました！70名以上の方に参加していただき、無事に終える事ができました！今回、関わってくださった皆さん、ありがとうございました！



11月3日



第5回だんない祭りを開催し、無事に終える事ができました！

今回、初めての参加でしたが、地域の方に多数お越しいただき、また、婦人会をはじめ、地域の方にご協力していただいたおかげでスムーズにだんない祭りを進行することができました！ありがとうございました！

そして、今回ご出演くださった、でんでんくるくるさん、高橋海斗さんありがとうございました！

でんでんくるくるさんは、身近に起こる出来事などを題材にして、なんと台本なしで漫才をされていました。アドリブならではの面白さがあり、場を盛り上げてくださいました。大喜利では、会場の方も参加していただき、様々な答えを聞くことができ楽しかったです。

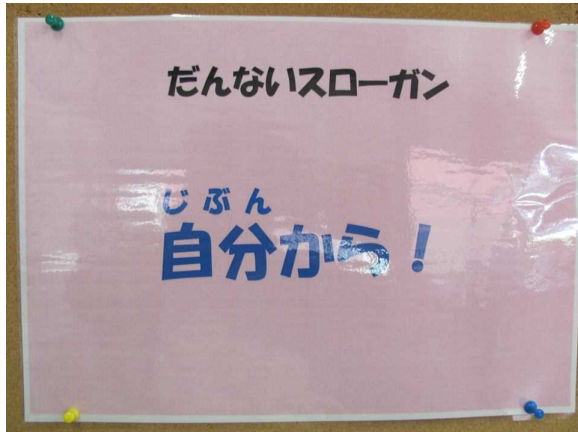
高橋海斗さんには、百人一首を題材にしたオリジナルの歌を聴かせていただいたほか、カバー曲も聴かせてくださいました！甘く爽やかな声で会場の皆さんを魅了されていました。アンコールにもお応えくださり、さらに会場を盛り上げてくださいました。

でんでんくるくるさんと高橋海斗さんのおかげで、平成最後にふさわしい素敵なだんない祭りになりました！

今回、第5回だんない祭りに関わってくださった全ての方々に感謝申し上げます。来年のだんない祭りもどうぞよろしくをお願いします！

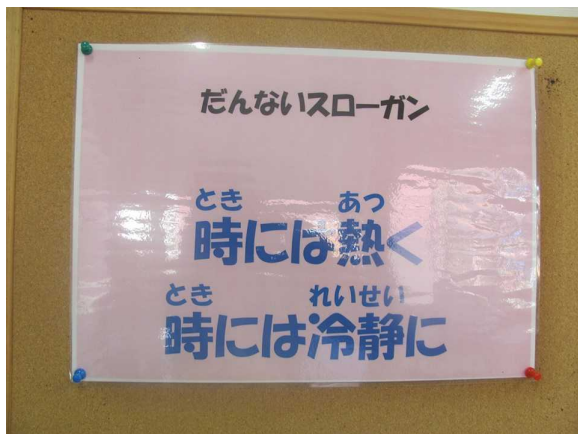
だんないスローガン 一部抜粋してみました！

9月3日



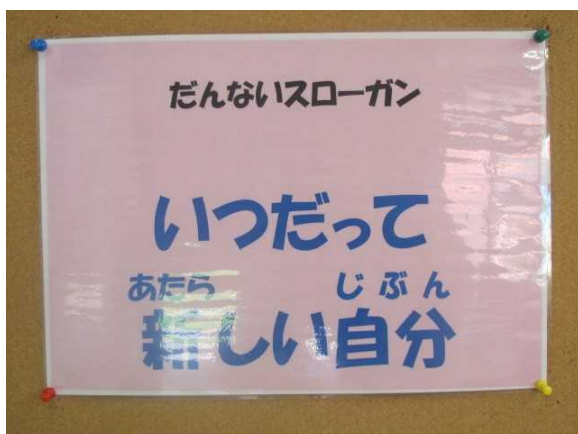
「自分から！」です。
自信をもって、自分の言葉、自分らしさを自分からみんなに伝える！！

9月19日



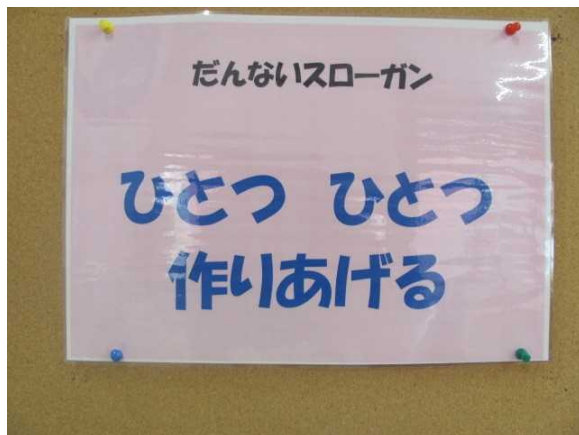
「時には熱く 時には冷静に」です。
時には熱い思いをあらわにして活動することが大切ですが、一方で時には冷静になり、そのことを客観視して活動することも大切なんだと思い、このスローガンにしました。日常生活でもこの事を念頭に置いて活動に活かしていきたいなと思います。

10月7日



「いつだって新しい自分」です。
繰り返えしのような日常の中にも新しい何かを見つけたい。私たちの一瞬は次の一瞬には過去になって、そういう一瞬が積み重なって未来につながっていく。どんな一瞬でも前の一瞬と同じ自分はいなくて、これまでの自分と今の自分がこれからの自分につながっていく。だからこそ、どんな一瞬も大切にしたい。いつだって新しい自分という気持ちでいろいろやっていきたいという思いで、このスローガンにしました。

10月16日



「ひとつ ひとつ 作りあげる」です。
今週の土曜日には、サラダパンカップがあり、今はみんなでサラダパンカップの準備中です。
みんなで、ひとつひとつ準備をしていって、楽しいサラダパンカップを作りあげたいです！
今回のサラダパンカップは、高月運動広場体育館で行います。皆さん、ぜひ見に来てください！

11月2日



「次へとつなげていくために！」です。
明日はいよいよ「第5回だんない祭り」です！
今回の祭りはきっと何かのきっかけになる！
そんな気がしています。

強力な台風、竜巻等、気象災害を含め大規模災害を身近に
 感じるが増えています。重度のしょうがいのある人の防災、必要
 な備えや避難等について学習する機会が必要との認識から、講師
 を招いての講演会を実施することとしました。
 重度のしょうがいのある人のみならず、しょうがいのある人の生活
 に重要な内容ですので、是非ご参加ください（長浜米原しょうがい者
 自立支援協議会全体会として実施します）。

参加費 無料
 申し込み 不要

医療ケアの必要な人の

災害への備えについて

講師

人工呼吸器をつけた子の親の会 バクバクの会 折田みどり氏
 バクバクの会(関西支部会員) 平本 歩 氏

(手話通訳・要約筆記あり)



13:00～13:05 開会
 13:05～13:35 自立支援協議会全体会
 13:40～15:10 講演
 15:10～15:25 質疑応答
 15:25～15:30 閉会

平成 30 年
12 月 21 日 (金)
13:00～15:00
(受付 12:30～)
長浜市役所多目的 1～3

【主催】長浜米原しょうがい者自立支援協議会

【問い合わせ】米原市役所 山東庁舎
 健康福祉部 社会福祉課

〒521-0292 米原市長岡 1206 ☎ 0749-55-8102 FAX 0749-55-8130



2018

こうりゅうかい だんない交流会

いつもだんないの活動にご支援・ご協力いただきありがとうございます。

今年は、新事務所を開所でき、恒例のイベントも無事やり遂げることができました。

これも日頃から地域の方をはじめ、だんないに関わってくださる皆さんのおかげと感謝申し上げます。

さて、今年も「だんない交流会」を開催します！皆さんと食事やゲームしながら、今年の思い出や来年やりたいことなどを楽しくお話できればと思います。今年は、だんない新事務所で行います。たくさんの仲間と平成最後のだんない交流会の思い出を作りましょう！！ぜひお越しください！

かいさいにちじ
開催日時

12月23日(日)

13:00～

17:00



かいさいばしょ
開催場所

だんない新事務所

お問い合わせ：NPO法人CIL だんない 080-5630-9507

担当：大橋

NPO法人CILだんない

ヘルパー募集！

～地域で生きるお手伝いを～



あたりまの生活をささえる仕事

ご飯を作って食べたり 外出をしたり
友達と遊んだり お風呂に入ったり
などの日常生活のお手伝い。



「CILだんない」って どんな活動してるの？



NPO 法人 CIL だんないでは、居宅介護事業所「さざなみ」の介助職員を募集しています。「なぜ障害があるだけで施設なの？」障害があっても地域で一人暮らしをしたい！健常者と同じように自分が望む生活を送りたい！「介助をやってあげている」ではなく、利用者の自己決定を大切にするサービスを行っています。誰もが地域で共に生きていける社会を作っていきます。

NPO 法人 CIL だんない

居宅介護事業所「さざなみ」

代表 美濃部 裕道

滋賀県長浜市木之本町千田681—4

TEL: 0749-50-3639

E-mail: dannai@ae.auone-net.jp

HP: <http://cil-dannai.jp/index.html>

☆勤務時間

シフト表により応相談(週40時間程度)
短時間でも大歓迎！

☆給料

①正規職員

月給17万円～(昇給あり)

通勤手当

加入保険(厚生・健康・雇用・労災)

②パート・アルバイト

時給966円 ※勤務時間等、柔軟に対応します。

☆資格がなくても

未経験・資格のない方でも大丈夫。

採用後、当法人負担による資格取得制度あり。

フェイスブックに活動の様子が載っているのでご覧下さい！

<https://www.facebook.com/cildannai>



コラム

ヨリの雑記帳（36）

最近、というかいつもでもあるが、バタバタ、バタバタ、動き回っている。だんないの中では、回遊魚と言われて久しい。とにかく、イベントが多かった。それは、だんないが運営に関わっているイベントもあれば、参加させていただくイベントもあった。刺激多き秋である。そのような日々ではあるが、久々に自宅の書斎として使っている部屋のパソコンの前に座ってこの原稿を書いている。

自立生活運動は、ある意味で「自由を求めてきた運動」と言っても良いかも知れない。また、そのような運動は「脱施設化運動」とか、「シセツや親元を離れ、地域で暮らす運動」とも言われてきた。その運動の根底には、「自由になりたい」という切実な願いがあった。つまり、シセツでの生活であると、門限に関する決まりに始まり、入浴に関する決まり、昔の人権感覚が無い施設であると頭髮に関する決まりまであった。自立生活運動の始まりは、ロングヘアが流行っていた当時において、「私も、髪の毛を伸ばしてみたい」という当時の年頃の女性であれば当然のように思い、あこがれ、強く願う、年頃の女性としてごく当たり前の生活であった。

自立生活運動の初期は、ごく当たり前の生活を行うことに對し、「自由を手に入れる」と言わねばいけなかった時代であった。ただ、この「自由を得る」という行動は、例えば、「行政のお世話になっているものは、ぜいたくな生活をせず、静かに生活をするべきである」といった、ある意味で障害者の生活をパターン化し、偏見に満ちたまなざしで障害者という集団を見ていこうという世間のあり方を、根本から問い返すことになった。だから、あえて、超ロングヘアにしたり、意識的に奇抜な格好をしてみたり…、という運動路線ができあがっていった。それは、社会の差別的なあり方を「問う」ための意図的な奇抜性であったと言える。

そして今、社会はずいぶん変わってきた。その中で、「奇抜な運動路線」の形式だけが残っているように感じるものがしばしばある。つまり、「社会のあり方を問う」という根本が抜け落ち、ただ「自由」を求めているだけのようないきなりなあり方になっていないかという危惧である。もし、ただ自由だけを求めるなら、それは、「ワガママ」とどう違うのだろうか？

もっと、ワガママになりなさい。この言葉は、私が同じ脳性麻痺の先輩方から聞き続けてきた言葉である。だから、「ワガママ」でいいのじゃないかという見解もあるかも知れない。ただ、私が先輩方の言葉の真意を考えて、言葉を補足すると「社会の抑圧や偏見に対して自分の意見をすてて、社会の意見に従うのではなく、もっとワガママに、ごく当たり前の権利を、あたりまえのように主張していいんだよ」という言葉であったはずである。決して、悪い意味でのワガママし放題をすすめていたわけではないはずである。

もちろん、「ワガママし放題はいけないのだ」という主張であれば、世間の「行政のお世話になっているものは、質素に生活営むべきである」といった抑圧と大差ない。むしろ、そのような偏見を告発するための「もっと、ワガママになりなさい」であり、自由を求める運動であったはずである。だから、大差はないはずはない。

要に「世間の偏見に対する告発」を自覚しているかどうかによって、一見すると同じに見える「ワガママ」も内容が大きく変わってくる。先輩方は、頭髮に関する決まりに対して「ロングヘアにしたい」というワガママを私物化しなかったのである。つまり、障害者と一括りにされてきた人々の「当たり前の権利」を求める総意としてのワガママだったと言える。それは、決して「ひとりごと」ではない。だからこそ、その願いが国連の障害者権利条約を産み、障害者差別解消法や条例をつくりだして来たのである。

だからこそ、あえて言う。私たちは、もっとワガママになろう！！

（よりたか つねのぶ）

NPO 法人 CIL だんない

〒529-0423

代表 美濃部裕道、副代表 市川正太

滋賀県長浜市木之本町千田681番4

事務局長 頼尊恒信、理事 横山卓馬

TEL : 0749-50-3639

URL : <http://cil-dannai.jp/>

FAX : 0749-50-3961

E-mail : dannai@ae.auone-net.jp

郵便振替口座番号：ゆうちょ銀行木之本支店 00940-2-209115

加入者名 : NPO 法人 CIL だんない